

第6回 横須賀共済病院

がん化学療法研修会

日時：平成28年11月24日（木） 19:30～20:40

場所：横須賀共済病院 外来1号館5階 講堂

当院は、三浦半島における「地域がん診療連携拠点病院」として、地域の医療従事者を対象とした「化学療法」、「放射線治療」の研修会を年1回開催しております。

第6回は、慢性骨髄性白血病と肺がんに関する研修会を開催することといたしました。ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

テーマ：分子標的薬と免疫チェックポイント阻害薬

慢性骨髄性白血病は昭和の時代では不治の病とされていましたが、分子標的薬であるイマチニブ（グリベック）により劇的に治療効果が改善されました。今回はその治療についてわかりやすくお話する予定です。

また、肺がんについてはニボルマブ（オプジーボ）の登場により、今までの免疫治療と免疫チェックポイント阻害療法の違いや問題点などをお話する予定です。ぜひこの機会に化学療法の見識を高めて頂きたいと存じます。

開会のご挨拶

横須賀共済病院

外科部長

茂垣雅俊

19:35～20:05

慢性骨髄性白血病の治療

分子標的薬による治療

血液内科部長

豊田茂雄

薬剤科

川口文誉

20:05～20:35

免疫チェックポイント阻害療法

呼吸器内科部長

夏目一郎

閉会のご挨拶

小磯診療所

院長

磯崎哲男

※本会は日本医師会生涯教育講座1単位の研修となります。カリキュラムコード(10・73)を申請中

主催 地域がん診療連携拠点病院 横須賀共済病院

共催 横須賀市医師会 三浦市医師会 逗葉医師会

後援 横須賀市

お問合せ先：横須賀共済病院 地域連携センター地域連携室（担当：小松・神山）

〒238-8558 横須賀市米が浜通1-16 TEL（直通）046-827-1117（平日8:30～17:15）